

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名		地球環境にやさしいまち		施策番号・名		14		水と緑にふれあうまちづくり		基本事業番号・名		14-02		緑の保全と活用														
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体						一般財源分				全庁評価会議 (27年度に向けた方向性等)								
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源		一般財源										
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等												
14-02-01	環境政策課 みどり公園担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 都市緑地法 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) みどりに関する条例 (市) 緑の基本計画	対象 高さ10m以上、幹回り157cm以上の樹木 手段・内容 1~3月にかけ保存樹木等の補助金申請を受け、補助金を交付	平成25年度	30 (種)	平成25年度	517 (本)	平成25年度	-58 (本)	平成25年度	3,571	平成25年度	1,530	平成25年度	5,101	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	3,571	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	説明欄：行財政改革アクションプラン3(2)平成26年度補助金等適正化対象事業 説明欄：毎年、指定している保存樹木が減っている中で、指定していない樹木の指定など指定保存樹木を増やす方針を考えていく必要がある。 平成23年度より事業の在り方についての検討を行っており、樹木所有者の意識を知るためのアンケート調査を行ったところである。木の剪定や落ち葉の処理など所有者の負担は増しており、その補助が求められているが、同時に市内の貴重な緑を広く市民にPRする必要も見いだすことができた。 平成25年度においては新規の指定申請もあり本数が増加した。 【補足説明】補助金を見直しとしているが、貴重な緑を保存していくこととしての緑の基本計画の主旨等を踏まえるとともに平成25年度に保存樹木の指定を増やした経過がある中で単価の見直しや指定解除を含め検討していかなければならない。		
	環境政策課長 小島 信行			平成24年度	30 (種)	平成24年度	459 (本)	平成24年度	26 (本)	平成24年度	3,296	平成24年度	1,365	平成24年度	4,661	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	3,296	平成24年度	—		平成24年度	—
	保存樹木等保護支援事業			平成23年度	30 (種)	平成23年度	485 (本)	平成23年度	7 (本)	平成23年度	3,180	平成23年度	1,973	平成23年度	5,153	平成23年度	1,623	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—		平成23年度	—
	事業形態			<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図 (所有者) 適正に管理する(基準以上の樹木等) 保全しやすくする	参加団体数 会議開催回数 参加回数	説明欄：総合交付金の算定対象事業となっていた。 H24・25：0円 H23：1,557千円	説明欄：毎年、指定している保存樹木が減っている中で、指定していない樹木の指定など指定保存樹木を増やす方針を考えていく必要がある。 平成23年度より事業の在り方についての検討を行っており、樹木所有者の意識を知るためのアンケート調査を行ったところである。木の剪定や落ち葉の処理など所有者の負担は増しており、その補助が求められているが、同時に市内の貴重な緑を広く市民にPRする必要も見いだすことができた。 平成25年度においては新規の指定申請もあり本数が増加した。 【補足説明】補助金を見直しとしているが、貴重な緑を保存していくこととしての緑の基本計画の主旨等を踏まえるとともに平成25年度に保存樹木の指定を増やした経過がある中で単価の見直しや指定解除を含め検討していかなければならない。																				
14-02-02	環境政策課 みどり公園担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 都市緑地法 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例	対象 東京都及び都内区市町村 手段・内容 都区市町村合同検討・推進委員会市町村検討会	平成25年度	54 (人)	平成25年度	2 (回)	平成25年度	2 (回)	平成25年度	4	平成25年度	153	平成25年度	157	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	4	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	説明欄：平成22年度より方針策定から推進を目的とするよう会議目的が移行した。都全体における計画であるため、本市における利益は比較的薄いと考えるが、都全体のことを考えると、「都市公園・緑地の整備方針」の策定と合わせて、緑確保の推進のために参画する必要がある。 計画策定から3年が過ぎ、平成25年度より計画の見直し作業が進められている。 この計画に基づく確保地(黒目川越処橋特別緑地保全地区)の確保を平成25年度に終了した。		
	環境政策課長 小島 信行			平成24年度	54 (人)	平成24年度	3 (回)	平成24年度	3 (回)	平成24年度	3 (回)	平成24年度	3	平成24年度	137	平成24年度	140	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	3	平成24年度	—		平成24年度	—
	緑確保の総合的な方針推進に関する会議 参画事業			平成23年度	54 (人)	平成23年度	10 (回)	平成23年度	9 (回)	平成23年度	9 (回)	平成23年度	9	平成23年度	197	平成23年度	206	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—		平成23年度	—
	事業形態			<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図 地域制緑地型及び土地利用連動型の緑の確保の総合的な方針を策定した。今後は方針に基づく施策を都・区市町村合同で実施していく。	説明欄：平成22年度より方針策定から推進を目的とするよう会議目的が移行した。都全体における計画であるため、本市における利益は比較的薄いと考えるが、都全体のことを考えると、「都市公園・緑地の整備方針」の策定と合わせて、緑確保の推進のために参画する必要がある。 計画策定から3年が過ぎ、平成25年度より計画の見直し作業が進められている。 この計画に基づく確保地(黒目川越処橋特別緑地保全地区)の確保を平成25年度に終了した。																						
14-02-03	環境政策課 みどり公園担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 都市緑地法 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	対象 市民(市の公有地)水環境と緑地 手段・内容 樹林地の維持管理	平成25年度	6 (箇所)	平成25年度	6 (箇所)	平成25年度	3,282.19 (㎡)	平成25年度	86,133	平成25年度	2,295	平成25年度	88,428	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	58,133	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	説明欄：樹木が大きくなり苦情が多くなっている中で、適正管理を実施する必要がある。台風等の災害に見舞われると、多数の倒木が発生し、危険も伴っている。 なお、今後の方針としては、現状の外部委託等を踏まえ、更なる管理方法の効率化を検討する余地がある。 ボランティアや市民とのさらなる協働も必要である。 平成23年度は黒目川親水化事業の一環として用地の買収を行った。平成25年度は同じく特別緑地保全地区に指定のうえ、用地の取得を行った。(都補助28,000千円)		
	環境政策課長 小島 信行			平成24年度	6 (箇所)	平成24年度	6 (箇所)	平成24年度	3,282.19 (㎡)	平成24年度	437	平成24年度	683	平成24年度	1,120	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	437	平成24年度	—		平成24年度	—
	樹林地管理事業			平成23年度	6 (箇所)	平成23年度	6 (箇所)	平成23年度	3,282.19 (㎡)	平成23年度	138,866	平成23年度	986	平成23年度	139,852	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	138,866	平成23年度	—		平成23年度	—
	事業形態			<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図 市民の生活環境の中にある水と緑を増やし減らさないようにする。	説明欄：樹木が大きくなり苦情が多くなっている中で、適正管理を実施する必要がある。台風等の災害に見舞われると、多数の倒木が発生し、危険も伴っている。 なお、今後の方針としては、現状の外部委託等を踏まえ、更なる管理方法の効率化を検討する余地がある。 ボランティアや市民とのさらなる協働も必要である。 平成23年度は黒目川親水化事業の一環として用地の買収を行った。平成25年度は同じく特別緑地保全地区に指定のうえ、用地の取得を行った。(都補助28,000千円)																						
14-02-04	環境政策課 みどり公園担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 都市緑地法 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	対象 市民、東京都自然環境の保全 手段・内容 植生管理委託 樹林地管理 支障枝処理 ごみ処理 沈砂池管理	平成25年度	8 (箇所)	平成25年度	8 (箇所)	平成25年度	132.616 (㎡)	平成25年度	8,194	平成25年度	3,061	平成25年度	11,255	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	207	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	説明欄：都緑地保全地域、都歴史環境保全地域における植生管理は、委託作業費としては都より補助率10/10で支給されている。このため縮小、休止、廃止はできない。実際には、市民からの苦情対応のため職員人件費が相当額かかっている。倒木の高木・老木化が進み、施設内の植生を阻害するだけでなく、危険性も伴っている。 なお、今後の方針としては、現状の外部委託等を踏まえ、更なる管理方法の効率化を検討する余地があり、ボランティアや市民とのさらなる協働も必要である。 平成25年度においては市民活動のすそ野の拡大を図るため、近隣自治会への呼びかけを行った。		
	環境政策課長 小島 信行			平成24年度	8 (箇所)	平成24年度	8 (箇所)	平成24年度	132.616 (㎡)	平成24年度	8,195	平成24年度	2,730	平成24年度	10,925	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	—	平成24年度	349	平成24年度	—		平成24年度	—
	緑地保全地域植生管理事業			平成23年度	8 (箇所)	平成23年度	8 (箇所)	平成23年度	132.616 (㎡)	平成23年度	11,828	平成23年度	3,946	平成23年度	15,774	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	—	平成23年度	2,377	平成23年度	—		平成23年度	—
	事業形態			<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図 市民の生活環境の中にある水と緑を増やし減らさないようにする。	説明欄：都緑地保全地域、都歴史環境保全地域における植生管理は、委託作業費としては都より補助率10/10で支給されている。このため縮小、休止、廃止はできない。実際には、市民からの苦情対応のため職員人件費が相当額かかっている。倒木の高木・老木化が進み、施設内の植生を阻害するだけでなく、危険性も伴っている。 なお、今後の方針としては、現状の外部委託等を踏まえ、更なる管理方法の効率化を検討する余地があり、ボランティアや市民とのさらなる協働も必要である。 平成25年度においては市民活動のすそ野の拡大を図るため、近隣自治会への呼びかけを行った。																						

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名		地球環境にやさしいまち		施策番号・名		14		水と緑にふれあうまちづくり		基本事業番号・名		14-02		緑の保全と活用												
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (27年度に向けた方向性等)								
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源			一般財源							
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	事業費 (実績額) (千円)		事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
14-02-05	環境政策課 みどり公園担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 都市緑地法 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	対象 市民(市が民有地を借り上げ) 手段・内容 土地の借り上げ 樹林地の維持管理	整備箇所	借り上げ箇所	保全されている 緑地面積	平成25年度	7	平成25年度	28,658.00	21,836	1,530	23,366	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	21,836	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持			
	環境政策課長 小島 信行						平成24年度	7	平成24年度	28,658.00	21,874	1,365	23,239	平成24年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成24年度	21,874	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持		
	森の広場管理事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額	平成23年度	7	平成23年度	28,658.00	23,297	1,973	25,270	平成23年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成23年度	23,297	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持
							事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図	市民の生活環境の中にある水と緑を増やし減らさないようにする。	平成23年度	7	平成23年度	28,658.00	23,297	1,973	25,270	平成23年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成23年度	23,297	26年度以降方向性	現状維持
14-02-06	環境政策課 みどり公園担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (市) 緑の基本計画	対象 保全対策協議会構成市(立川、東大和、小平、東村山、清瀬、東久留米) 手段・内容 関係機関への要請及び調整 本事業を深く認識するための研修 維持管理の問題協議	野火止用水区域(距離)	要請行動回数、 研修協議回数	保全要望件数	平成25年度	2,100	平成25年度	1	10	153	163	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成25年度	10	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持			
	環境政策課長 小島 信行						平成24年度	2,100	平成24年度	1	11	137	148	平成24年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成24年度	11	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持		
	野火止用水保全対策 協議会参画事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額	平成23年度	2,100	平成23年度	1	11	197	208	平成23年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成23年度	11	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持
							事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(負担金)	意図	用水区域内を人と自然が触れ合う憩いの場としての利用を図る。	平成23年度	2,100	平成23年度	1	11	197	208	平成23年度	26年度以降方向性	現状維持	27年度以降方向性	現状維持	平成23年度	11	26年度以降方向性	現状維持